

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

2007
No.178号

7

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 上野 貢一

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
http://www.jyuji.or.jp
e-mail: info@g.jyuji.or.jp

印刷/岳麓印刷株式会社

〔聖句〕喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



「はい、ポーズ！」

イルド

理事長 平井 章

このところ、無関心ではいられない出来事が次々と起きています。年金の問題、介護保険事業者の不正請求の問題、憲法改正の問題など。関心を寄せてみると、政治や行政の常識と一般社会との常識がかけ離れていることを感じます。年金問題について「他の国なら暴動が起きてもおかしくない」といった論評もありました。無関心の人が多いのではないのでしょうか。

「私はマザーに会った」という本の中で、土井たか子氏は、『マザー・テレサは「愛の反対は憎しみではなく、無関心です」とおっしゃいました。政治の場合でも、無関心からは何も始まりません。』と書いています。

広くは世界の動き、政治の動き、社会の動き、狭くは世間の動き、周囲の動きなどに関心を寄せてみませんか。何かが見えてきます。そして自分なりの評価をしてみませんか。

「隣人に仕える」

御殿場十字の園施設長 上野 貢一

寮棟から内線があり、「施設長来ませんか」と呼ばれて行って見ました。行って見るとエプロンを着けた利用者のTさんがいて、テーブルの上には、芹のお浸しが皿に載っていました。「今、Tさんと、近くのトンボ池に取りに行ってきたので、みんなで食べてみて、芹の味は、まさに食べてみて、芹の味は、少し苦味がありましたが美味しくほうれん草に似ていました。かつて芹を食べた記憶がない。Tさんは、「喜んでくれるなら、もっと取って来れば良かった」と言われました。職員は「今度、又、取りに行きましょうね」と言っていた。「芹のお浸し」一つを取っても、次の時代に伝えて文化を継承して行く場がないことを思います。八年前ユニットケアを行うようになって、こういうことも出来るように

なりました。老人ホームの生活は、どうあるべきか。あるいは、高齢者が年を取り、介護を必要とするようになった生活にあっても、出来ることはまだ沢山あります。その方の生きて来た人生を省みる中で、ひよっとしたらこの事も出来るということ、どう保障してあげられるのか。老人ホームという生活の場が、時代と共に変わって来ているように思いますが、それでも、集団となると、料理一つ作るのも難しいところがあるのが現状です。

六月十四日、十五日と、横須賀で、日本キリスト教社会事業同盟第六十三回総会・研修会が行われ、出席をして来ました。テーマは、「キリストに倣う者として『地域』に仕える」でした。一、二名の参加があり、今年、韓国から大韓イエス教長老会（社会

「ふくし」からまぢづくり

御殿場市地域包括支援センター
御殿場十字の園主任 宮島 克利

昨年の十月には、センターを商店が隣接する県道沿いに移転しました。一人暮らしの高齢者や民生委員の方などが尋ねて来られたり、近所に住むボランティア団体の役員さんが「何か出来ることがあったら言ってみて」と声をかけてくださったりして、少しずつですが、センターについて周知されてきたことを感じます。しかし、一方では、どこに相談したらよいか分からず抱え込んでいたり、妻を亡くした夫が、閉じこもりぎみになってしまったり、体力や栄養状態等が低下し、要介護状態になってから、はじめて連絡が入る例も多くあります。

住民一人一人の「身近な相談窓口」でありたいと思いますが、まだまだ時間を有しません。広報活動とともに、一つ一つ丁寧に対応して、信頼関係を築ける取組みが大切で、

また、支援を必要とする方を早期に発見したり、見守りや支え合いが出来る地域のネットワークの必要性を感じます。

先日、御殿場市内の四つのセンターと小山町のセンターが実行委員を務め、ケアタウン総合研究所所長の高室成幸先生を講師としてお招きし、「高齢者を地域で支える、支え合うネットワークづくり」というタイトルで講演会を開催することができました。地域の民生委員やケアマネジャーなど二百三十人ほどが参加され、地域の支え合いネットワークについて共に学ぶことが出来ました。

講演において、これからは自助、公助そして、互助、互助の四つのバランスが大切で、誰かがやる「ふくし」ではなく、誰もがやる、誰もができそうな、誰もがやりたくなる、暮らしとまちづくりの「ふくし」がこれからの「地域福祉」には求められているとのことでした。

6月13日 講演会の様子



奉仕部) 九名の参加もありました。私自身、今回の総会・研修会に参加したもう一つの目的に、横須賀基督教社会館の見学があります。車で、行っていたので、道に迷い、社会館のある田浦の町を少しさ迷いましたが、その時ある婦人に出会い、道を聞くと、私も今から行くところですよと、親切に教えて下さいました。社会館の立っている土地柄や、住民に認知されている姿を感じました。阿部志郎氏は、総会・研修会、社会館の案内の時に同席されましたが、私は隠居の身ですから一言挨拶をされただけで多くは語りませんでした。社会館では、現館長の岸川洋治氏に、戦後、六十年の歩みの説明を受け、館内を見学したのですが、デザイナー、配食サービス、保育所、学童保育所、ありとあらゆる地域サービスが、一つの建物に集約されていました。ニーズがあれば、取り組んでいった歴史があるよ



「もういいかなあ」芹を煮るTさん

うです。年間六〇〇〇名のボランティアが来られ、住民と共に、歩んで来た歴史を感じました。御殿場十字の園もつと「地域と共に歩む」姿勢が必要なのではないかと思われました。英語講座、クラブ活動から出発した社会館と、特別養護老人ホームから出発した御殿場十字の園とは、出発の違いはあるのでしょうか、目指すところは、一つのように入に思います。「主に倣い、隣人に仕える」働きの業が、主の恵みに答える働きでありたいと願うのです。

〈在宅福祉便り⑳〉

『ガイドヘルパー事業について』

訪問介護ステーション 芹澤 保憲

ガイドヘルパー事業は平成十八年十月から御殿場市の委託事業になり、現在十名程のガイドヘルパーが活動しています。ご利用対象者は視覚障害者や全身性の障害者等で、市役所から支給決定を受けた後、契約、活動開始となっております。利用料は月二十五時間まで無料です。二十五時間を超えると一割負担となります。

又、十字の園独自のサービスとして介護タクシー事業と組み合わせて活動することが出来ます。運賃等は個人負担となりますが、十五分毎に五〇〇円と一般のタクシーよりは安い設定になっています。

ご利用者の皆さんは主に病院の通院や買い物、サークルや会合への参加などにガイドヘルパーをご利用頂いています。私もガイドヘルパーとして活動していますが、むやみにお連れするのではなく、誘導方法などご利用者に合わせてガイドしなくては行けません。ガイドヘルパー

の資格を取った時の講習以上に、この点にご利用者に教えて頂く事が多く、コミュニケーションをより多くとっていくことが大事になっていきます。

また、ガイドヘルパー自身もご利用者に安心・安全で楽しくご利用頂くために、日々様々な事を勉強しなければならぬと感じています。また、ご利用者が主体であるということも当然忘れてはならないことです。

現在、外出したくても家族に気兼ねして家にいる方や、車椅子などで外出が思うようにいかないなどという方がまだいらっしゃると思います。今、御殿場市内にも公共交通機関をはじめとして、運転ボランティアや、介護タクシーなど様々な移動手段が出来てきました。また、御殿場市もタクシー券の助成を始めた。私たちの事業も移動手段の一つと考えます。私たちはご利用者の皆さんに気軽に相談していただけるような事業所でありたいと思っています。

運輸安全マネジメント関係 (介護タクシー)

平成18年度の事業用自動車の事故件数は0件でした。
平成19年度の事故件数の目標は0件(事故ゼロ)です。
今年度も安全運転を心がけてまいります。



食のイベント

「フルーツポンチ作り」

うぐいす・カナリア ユニットリーダー 宇佐美和代

先日、カナリアグループでは、久しぶりに食のイベントを行いました。

女性利用者四名と職員四名が腕によりをかけて一生懸命作りました。たかがフルーツポンチ、されどフルーツポンチということで、まずはフルーツを細かく切るところから。まな板や包丁を他のグループから借りて、それでも足りない場合は牛乳パック等で代用し、桃やみかん、キウイを切っていました。中には、久しぶりに包丁を握ったという方もいらっしゃいました。ちよつと前まで一家の台所を任されていたという雰囲気は今でも変わらない様子で



した。四名の利用者の中で一番張り切っていたYさん、包丁を持つなり、

「どんどん持ってきてちょうだい」、「これはどれくらいの大ききでいいの?これでもいいかしら?」

と、言いながら他の方が一個終わるか終らないうちに、二個、三個と手際よくこなして下さいました。

「みんなが周りにいなければ、私はつまみ食いをしてるところよ」

と冗談を交えながら会話が弾む一方、隣のテーブルではゆつくり一個ずつ、丁寧にフルーツを切っているTさん。いつもは椅子に座りながら、ウトウト居眠りしているTさんも今日は真剣に包丁を握り、職員と一緒に寒天を切ってくださいました。しかも周りの方々は皆、寒天を費の目に切っている中、きれいな

ひし形に切っていたのにはその場にいた職員みんなが驚きました。



全てのフルーツ類を切り終え、ボールの中に仕上げのサイダーを入れ、シユフワと良い音が聞こえ一同、「おいしそう・・・」ため息混じりに言った一言でした。昼食のデザートにと作った私たちのフルーツポンチは、皆のテーブルに配られ、食後のデザートまで待ちきれず、真つ先に手を付けてしまったのは先ほど手際よく包丁さばきを見せてくださったYさんなのでした。

新職員紹介

猪越 貴史

4月から特別養護老人ホームで働かせていただいています。利用者の心に寄り添い、共に楽しく過ごすことができようがんばります。



鈴木 志保

御殿場十字の園の一職員として、安んずる環境を作りたいと思っています。よろしくお願いします。



長田奈都美

4月から職員になりました長田奈都美です。職員になっての目標は利用者の方に家族だと思っていただけるように支援していくことです。



長田 玲子

新規一転、新たな気持ちで、みなさんと元気に過ごしていきたいです。よろしくお願いします。



ケアハウス 御殿場アドナイ館

入居者の様子 ②⑥

五月二十三日

「遠足」
東名御殿場インター↓沼津インター↓寒寿園↓伊豆村の駅↓東名沼津インター↓御殿場インター↓ケアハウス着
寒寿園で花と森林浴を楽しみ、伊豆村の駅では海の幸をお腹いっぱい堪能しました。



「アートフラワー」
九十二歳のIさんは、アートフラワーがご趣味です。材料を東京まで買いに行かれています。今月はエレベーター入口のコーナーにポピーとマーガレットが咲いております。



胸が熱くなく、感無量になりません。戦争を経験さ



「こんな白い紙じゃあもつたいないから新聞紙でいいよ」「筆なんか小学校以来もつたことないから駄目だよ...でももう一枚書いてみようかな」「そうそう大丈夫、気楽な気持ちで自由に書いてみて」最初はそんな会話から始まりましたが、二回目になるといつの間にか自分から進んで筆を持って書かれています。身体が不自由で思うようにかけなくても、左手で頑張っている人、黙々と書いている人など、さまざまですが、無心に書かれている人には何か

縁あって十字の園で生活されているわけですから、これからは一日一日を楽しく、そして大切に過ごしていただきたいと思います。私も縁あって、こうして皆さんとお付合できることを感謝しています。そして少しでも良いお手伝いができるようにこれからも頑張りたいと思います。



れた利用者さん達は、激動の時代を頑張って生きてこられた方々です。私達はたくさん習うことがあると思います。

『一期一会』

井村弘子

ユニット日記

外部講師を招いての認知症研修会

特養ちどりユニット 眞田 明日香
特養副主任 中野 英和

先日北海道より外部講師の横山絃子先生を招いての認知症の講演が行われました。内容は認知症についての理解や認知症の方への介護の方法などで、非常に有意義な講演でした。次に今回の講演を受けて、実際にどのような自分たちの介護に生かしたかを述べたいと思います。

横山先生が来園された時、実際に施設の中を見てくださり、様々な指摘やアドバイスをいただきました。始めに入浴についてですが、入浴環境について様々な指摘を受け、気づかされた多くのことがありました。そのことについて職員で話し合い、改善案を挙げました。まず、倉庫のように見える脱衣場を変えたいと思いました。現在、脱衣場は大きな棚がむき出しのためカーテンを取り付ける事にしました。次に今の広い空間の中での着衣介助は羞恥心への配慮が足りなかったと分かり、ついでてを使い、狭い空間を作り出そうとしています。まだこの他にも改善すべき点は多々



あります。利用者にと

ってよりよい入浴環境を整えることを第一に、一つずつ取り組んでいきたいと思っています。それが利用者の笑顔を引き出すことにつながり、私たち介護職のやりがいにもなるのではないかと思います。

また、当施設では利用者個人を尊重し家庭的な環境での介護を行うために、利用者を少人数のグループに分けさせていただき、介護を行ってきました。しかし今回の横山先生の指導により個人を重視していたつもりが、グループ全体で流れ作業になっていることに気づきました。最後に利用者への服薬についてですが、今まで服薬についてはただ飲んでいただければよいという認識でした。しかし先生の指摘により適切に服薬することが利用者にとっていかに重要かということを再認識し、服薬に関しては職員が責任感を持って取り組むようになりました。



〈特養のある日の午後〉

献金下さった方々

敬称は略させていただきます

3月分

長田豊吉、社団法人玉穂報徳会、加藤喜美子、中村宏、鹿嶋節、白幸産業㈱、上野貢一、新島学園中学校、高等学校、渋谷教会、名古屋北教会、社会奉仕委員会、東洋英和女学院中等部宗教委員会、仙川教会

4月分

福島正昭、鈴木純子、武藤笑子、丸木進、小川直子、崎嘉一、深沢婦人会、岩槻教会

5月分

勝俣タミ、西村正子、岩本教会、尾崎正夫、土屋邦夫、富士社会教育センター、白幸産業㈱

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

3月分

みくりや友の会、山口範子、厚生年金婦人会、隆生会書道、御殿場市赤十字奉仕団、鈴の会、田代順子、ミモザの会、市婦連福祉グループ、山口光子、市野はつ、シャマイム池谷、木洩れ日朗読の会、隆生会、勝又静江、芹澤菊枝、AKI美容室、御殿場教会

5月分

なでしこ会、しきなみ短歌の会、太極拳カツマタ、井村弘子、野菊寮高村恵子、杉山和子、神保久美子、白倉たえ子、勝又町子、宮下宗之、中里京子、米軍キャンプ場、和田正純、田辺良子

4月分

みくりや友の会、シャマイム池谷、厚生年金婦人会、御殿場市赤十字奉仕団、隆生会書道、ミモザの会、田代順子

御殿場十字の園 支える会

3月分 13件 235,077円

H18年4~3月累計 176件 3,261,377円

4月分 8件 71,000円

5月分 7件 86,000円

4~5月分 累計 15件 157,000円

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座
00110-9-98996
御殿場十字の園 支える会

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

市婦連福祉グループ AKI美容室 なでしこ会 市野はつ 勝又静江 芹澤菊枝 山口範子 御殿場教会 印野はつ 井村弘子 白倉たえ子 野菊寮 高村恵子 杉山和子 太極拳カツマタ 神保久美子 宮下宗之 渡辺弘子 琴城流御殿場支部大正琴 中里京子 中村孝信 木洩れ日朗読の会 若葉会 菅原幸和 上屋敷優希 和田正純 田辺良子

みくりや友の会 山口範子 厚生年金婦人会 隆生会書道 御殿場市赤十字奉仕団 田代順子 ミモザの会 市婦連福祉グループ 市野はつ 木洩れ日朗読の会 隆生会琴 勝又静江 芹澤菊枝 AKI美容室 御殿場教会 なでしこ会 しきなみ短歌の会 太極拳カツマタ 高村恵子 白倉たえ子 神保久美子 野菊寮 杉山和子 渡辺弘子 宮下宗之 隆生会 やよい会 中里京子 車椅子ダンス 玉穂婦人会 深沢婦人会 印野はつ まの会 井村弘子 鈴の会 不二聖心中学生 社会富士教育センター 和田正純 田辺良子

御殿場十字の園 平成18年度決算報告

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	21,042
現金預金	149,870	固定負債	400,488
未収金	113,399	負債の部合計	421,530
流動資産計	263,269	純資産の部	
固定資産		基本金	175,413
土地	379,297	国庫補助等特別積立金	603,769
建物	816,115	その他の積立金	28,000
その他の固定資産	46,270	次期繰越活動差額	276,239
固定資産計	1,241,682	(内当期活動収支差額)	(14,265)
資産の部合計	1,504,951	純資産の部合計	1,083,421
		負債・純資産の部合計	1,504,951

事業活動収支計算書 (単位:千円)

摘要	金額
介護保険収入(含1割負担)	554,291
その他	174,916
事業活動収入	729,207
人件費支出	487,699
経費	172,308
利用者負担減免	2,575
減価償却費	60,246
その他	1,463
事業活動支出	724,291
事業活動収支差額	4,916
事業活動外収支差額	4,349
特別収支差額	5,000
当期事業活動収支差額	14,265

平成18年度支える会決算報告書

(単位:円)

収入(献金)の部		支出の部	
現金(106件)	2,688,877	振込手数料	6,510
振込(70件)	572,500	印刷代	564,480
		郵送料	160,340
		消耗品費	44,730
		借入金償還等	2,485,317
合計(176件)	3,261,377	合計	3,261,377

昨年度も多大なご献金ありがとうございました。

あとがき

夏が近づき徐々に暑くなってきました。富士山の雪も溶け、今年も夕涼み会の時期が

やってきました。例年以上に盛り上げられるようがんばっていききたいと思います。

長田